



平成 23 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 一 正 蒲 鉾 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 野 崎 正 博
 (JASDAQ コード番号 2 9 0 4)
 問合わせ先 執行役員管理部長 真 保 俊 男
 (TEL 025 - 270 - 7111)

平成 23 年 6 月期業績（連結・個別）の通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 23 年 6 月期通期（平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）の業績について、平成 22 年 7 月 30 日に公表いたしました業績予想との差異が発生いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 6 月期 通期業績予想数値との差異

(1) 平成 23 年 6 月期 通期連結業績予想数値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 29,000	百万円 1,520	百万円 1,550	百万円 740	円 銭 79.87
今回発表予想(B)	29,636	1,541	1,522	157	16.95
増減額(B-A)	636	21	△ 28	△ 583	—
増減率(%)	2.2	1.4	△ 1.8	△78.8	—
(ご参考)前年実績 (平成22年6月期)	28,350	2,020	1,982	1,256	135.60

(2) 平成 23 年 6 月期 通期個別業績予想数値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 28,400	百万円 1,280	百万円 1,300	百万円 600	円 銭 64.74
今回発表予想(B)	29,032	1,247	1,232	5	0.54
増減額(B-A)	632	△ 33	△ 68	△ 595	—
増減率(%)	2.2	△ 2.6	△ 5.2	△99.2	—
(ご参考)前年実績 (平成22年6月期)	27,787	1,604	1,567	996	107.48

2. 通期業績予想との差異が発生した理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、主力部門であります水産練製品・惣菜部門において、主力製品の販売強化への取り組みならびに販促企画提案による拡販施策を実施してまいりましたが、主に上半期における異常気象の影響ならびに消費者の低価格・節約志向の高まりによる販売面への影響もありました。

きのこ部門におきましては、営業強化に加えて、きのこの健康性・機能性食品としての人気の高まりによる需要増加などにより販売数量、販売単価ともに順調に推移し売上高は計画を上回る結果となりました。

以上により、売上高は296億36百万円(前回予想比6億36百万円の増加)となる見込みであります。

営業利益・経常利益につきましてはグループ全体における省人化・合理化への取り組みに加えて、きのこ部門での主力顧客への販売強化ならびに生産性向上への取り組みなどの結果、営業利益は15億41百万円(前回予想比21百万円の増加)、経常利益は15億22百万円(前回予想比28百万円の減少)となる見込みです。

また、本日公表いたしました「固定資産の減損に係る特別損失の発生に関するお知らせ」に記載いたしました通り、当社が所有し、子会社(株)オリエントプランに貸与しております有形固定資産等に減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に従って減損処理を行い、減損損失6億93百万円を特別損失に計上することに伴い、当期純利益は1億57百万円(前回予想比5億83百万円の減少)となる見込みであります。

(2) 個別業績

主に「通期業績予想との差異が発生した理由 (1) 連結業績」に記載の通りであります。

※上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上